

公民館だより なかがわ

第510号

令和7年5月8日
発行 中川地区公民館
TEL.Fax : 679-2501

【一般講座】

「マクラメ編み教室」 ～ブローチ作り

日 時：6月24日（火）10：00～12：00 頃
場 所：中川地区公民館 集会室
内 容：マクラメ編みにビーズも入れながら、
ブローチを作ります。
講 師：鈴木 有美 先生
持ち物：ハサミ、必要に応じて眼鏡、飲み物
材料費：1,000 円（材料準備の都合上、当日のキャンセルは
できませんのでご了承下さい。）

対 象：中川地区民
定 員：先着 10 名程度（定員になり次第締め切り）
※申込の際、ブルーかピンクをお選び下さい。

見本が公民館にありますので、
お声がけください。



「マクラメ」とは紐や糸を手で
編み、結び目を作り模様を生み
出していく技法です。

手作業で脳を刺激し、編んで
るときは夢中に、出来上がりは
達成感で嬉しくなります♪

公民館で趣味の時間を作っ
てみませんか？

参加者募集



中川地区グラウンド・ゴルフ大会

日 時：5月25日（日）9：00～12：00 頃
場 所：中川地区公民館前広場
参加料：無料
対 象：小学1年生から一般までの中川地区民
※詳しくは、地区回覧・小学校配布のチラシを
ご覧ください。

中川地区食生活改善推進協議会主催



「笹巻作り講習会」

日 時：6月3日（火）10：00～12：00 頃
場 所：中川地区公民館 実習室（調理室）
参加費：無料 対 象：中川地区民
定 員：先着 10 名
持ち物：エプロン、三角巾、持ち帰り用容器
※詳しくは、地区回覧のチラシをご覧ください。

お申込み・お問合せ：中川地区公民館（☎679-2501）

5月・6月 行事予定



5/2(金) 三者会、中川地区会長会
公民館運営協議会
5/8(木) 市報、館報
5/12(月) 福祉村実行委員会
5/13(火) そば打ち愛好会
5/16(金) 粋いき倶楽部開講式、防犯協会中川支部総会
5/20(火) 一般講座「みそ作り教室」
5/23(金) パソコンクラブ
5/25(日) 中川地区グラウンド・ゴルフ大会
5/27(火) ウォーキング教室（職員不在時間帯あり）
5/31(土) 蔵王山頂清掃とつつじ祭り

6/2(月) 三者会、中川地区会長会
6/3(火) 食改主催「笹巻作り講習会」
6/6(金) 市報、館報
6/9(月) 主事部会
6/10(火) そば打ち愛好会
6/12(木) 自衛消防訓練
6/13(金) パソコンクラブ
6/16(月) ～18(水) 笹巻き宅配事業
6/18(水) 福祉村だより編集委員会
6/20(金) 防犯協会中川支部幹事会
6/22(日) ウォーキング教室（協会）
6/24(火) 一般講座「マクラメ編み教室」
6/27(金) 粋いき倶楽部（職員不在時間帯あり）

グラウンド・ゴルフ愛好会

（月曜日） 5/7（水）、12、19、26
詩吟教室（火曜日） 5/13、20、27

ラージピンポン愛好会（木曜日） 5/1、8、15、22、29
スポーツ麻雀愛好会 （木曜日） 5/1、8、15、22、29

令和 7 年度の事業計画スタート

《 中川地区会 》

中川地区戦没者追悼式
中川地区新年祝賀会
笑い与健康のつどい

《 福祉村関係 》

蔵王山頂清掃とつつじ祭り
やすらぎ宅配「笹巻き事業」
中川福祉村運動会
福祉村文化産業まつり
開村 50 周年記念式典
中川福祉村施設訪問

《 主事部・体育部 》

中川地区グラウンド・ゴルフ大会
中川地区さわやかコンサート
中川地区ソフトボール大会

《 防犯協会中川支部 》

防犯協会中川支部総会
中川地区夏の安全パレード
中川支部防犯診断
防犯協会中川支部研修会

《 子ども会育成会 》

わんぱく広場「花火祭り」
中川地区少年少女球技大会
しめ飾り作り
冬に遊ぶ会

《 高齢者対象 》

中川粋いき倶楽部
高齢者教室（軽スポーツ大会、研修旅行）

《 公民館単独 》

詩吟教室
そば打ち愛好会
パソコンクラブ
ウォーキング教室
グラウンド・ゴルフ愛好会
ラージピンポン愛好会
スポーツ麻雀愛好会
しめ飾り作り
一般講座
単発講座

中川地区公民館運営協議会総会

令和 7 年度の中川地区公民館運営協議会総会が 4 月 2 日（水）に開催されました。今年度の協議会会長には引き続き、佐藤 友治氏（高野）、副会長には工藤 定義氏（小倉）が選任され、各地区会長 14 名と公民館館長の協議会役員により、令和 7 年度事業計画・予算について承認されました。中川地区がますます活性化するよう皆様方のお力をお借りしながら役職員一同がんばっていきたいと思っております。是非、公民館事業に積極的にご参加くださいますようよろしくお願い申し上げます。

中川地区合同懇談会



4 月 2 日（水）「令和 7 年度中川地区合同懇談会」が開催されました。各地区会長、小中学校・民生児童委員協議会・消防団など中川地区関連の方々、中川福祉村、公民館職員、総勢 26 名が一堂に会し、中川地区会長会の佐藤 友治会長のあいさつに始まり、それぞれ自己紹介および今年度の活動方針などを伝え、顔合わせとなりました。1 年間どうぞよろしくお願いいたします。

中川地区戦没者追悼式

4 月 18 日（金）地区会長会主催の「中川地区戦没者追悼式」が開催され、地区会長、来賓の方々にご臨席いただき、戦没者の御霊を供養いたしました。私達は、現在の平和と繁栄が多くの尊い犠牲の上に築かれていることを後世に継承していかなければなりません。毎年行われている「中川地区戦没者追悼式」を通して、改めて戦争による悲しみを思い、幸せな毎日を過ごせる大切さを考える日になっていければと思います。



第 65 回中川福祉村村議会



4 月 22 日（火）「第 65 回中川福祉村村議会」が開催され、多くの皆様にご出席いただきました。今年開村 50 周年の節目を迎え、令和 7 年度事業計画・開村 50 周年記念事業計画及び予算案が、それぞれ承認されました。蔵王山頂清掃とつつじ祭り、やすらぎ笹巻き宅配事業、大運動会、文化産業まつり、50 周年記念式典の開催と記念誌の発行等、多くの事業を予定しています。役員改選により、今年度新たに就任した木村義博村長が新役員を代表して、中川福祉村の一層の発展と活動の充実を図っていききたいとあいさつしました。



ウォーキング教室

会員 17 名。テラポイトガイドは、昨年
に引き続き高瀬さんです。初回は、地元
虚空蔵山北堰コースへ行ってきました。
春の心地よい風に癒されながら、ゆっく
りと歩いてきました。山桜も所々に咲い
ていてとても綺麗でした。



パソコンクラブ

会員 12 名。最初は Word の文字
入力！和気あいあいと学びます。



詩吟教室

会員 6 名。講師 齋藤 陸州氏。
詩吟が大好きな仲間です。



グラウンド・ゴルフ愛好会

会員 42 名。今年度も元気に
楽しくプレイしましょう～！



ラージピンポン愛好会

会員 28 名。暑い時も寒い時も、
皆さんピンポンを楽しんでいます。



スポーツ麻雀愛好会

会員 19 名。いつも楽しそうな
笑い声が聞こえてきます♪



そば打ち愛好会

会員 17 名。みんなで教えあい
ながら、そばを極めます！！



【一般講座】「春のフラワーアレンジメント教室」

3月28日(金)、「春のフラワーアレンジメント教室」が開催
され、ユキヤナギ、ランキユラス、スプレーバラ、ユーカリ、
ミモザ、レモンリーフのお花を使い、先生よりアドバイスをもら
いながらアレンジしていき、素敵な作品が出来上がりました。
春が待ち遠しくなりますね！



第1回子ども会育成会連絡協議会

4月7日(月)上記会議が開催され、今年度の会
長、副会長2名を選任し、事業計画について協議し
ました。今年度も、わんぱく広場として、少年少女
球技大会、花火祭り、冬に遊ぶ会、中川福祉村運動
会など、多くの事業で、子
どもたちの為に協力いた
だきます。1年間どうぞよろ
しくお願いいたします。



第1回主事部・体育部合同会議 第1回体育部会

4月14日(月)上記会議が開催され、今年度の主
事部・体育部のそれぞれの部長、副部長を選任し、事
業計画、予算案について協議しました。その後の体育
部会では、グラウンド・ゴルフ大会やソフトボール大
会について協議しました。
今年度も多くの公民館事業、
福祉村事業にご協力いた
だきます。1年間どうぞよろ
しくお願いいたします。



写真撮影・掲載について

公民館事業の中で、活動の様子などを公民館の職員が写真撮影し、一部撮影した写真を館報（公民館だより）に
掲載する場合があります。また、館報は市のホームページにも掲載されますので、あらかじめご了承下さい。

おらほの中川へ地域の話題シリーズ 第百九十九弾

「昭和考、問わず語り（その51）」

前稿では、満蒙開拓青少年義勇軍の設立状況を記述してきましたが、義勇軍として渡満した甲石地区のお二人の方から、従軍の状況を本稿と次号にわたりご紹介します。

〈青少年義勇軍として渡満した地元民の証言〉

甲石に住んでおられた故加藤朝之助さんは、青少年義勇軍として満州に渡った一人である。

その事情をノンフィクション作家・佐野眞一は、山元村を取材して著した「遠い山びこ」（文藝春秋刊）で次のように記述している。

昭和十七年三月、山元尋常高等小学校は卒業生五十名の中から六名の青少年義勇軍を送り出した。無着成恭と同じ、昭和二年生まれの子供たちだった。その一人、加藤（旧姓長橋）朝之助は六人兄弟の三男で、父親を早く亡くし、耕すべく田んぼはほとんど皆無という家に生まれた。

生計を支えたのは他の農家の手伝いでその日をしのご手間取りだけだった。卒業間際、加藤は同級生五人とともに体操場に集められた。全員貧しい農家の次三男だった。教師の説明は、この村では希望を持つうにも持てない子供たちの胸を高鳴らせるものだった。（写真は、写真集「満蒙開拓青少年義勇軍」に掲載された写真であるが、このような風景ではなかったかと思われる。）



関東軍への食糧補給が目的で軍事とは一切関係ない。一定の期間が過ぎれば開拓した土地はすべて君たちのものになる。将来そこに村ができ、優秀な者は村長にも、学校の先生にもなれる。

彼らは卒業証書を渡される前に、制服、制帽、巻グートルを、なかば強制的にうけとらされた。出発当日は、村長はじめ、校長、生徒ら山元村総出の盛大な壮行式が行われた。まだあどけなさが残る六人の少年は、出征兵士さながら万歳の合唱と日章旗の波に見送られ、山元村をあとに安東省四台子の訓練所に向かった。

満州現地での生活は教師の説明とは大違だった。いつも鋤を鉄砲に持ちかえられるように軍事訓練が毎日のように続いた。訓練もすみ、いよいよ念願の開拓地に入植できるといふその矢先、アメリカのB29が編隊を組んで訓練所の上空に飛来した。満州の撫順爆破のニュースが入るなか、加藤らは、爆撃の跡始末や塹壕の穴掘り要員として駆り出され、まもなく関東軍の指令で警備隊に編入された。

加藤は、敗戦とともにシベリヤに抑留され、帰国したのは山元村を出発して六年九ヶ月後の昭和二十三年十二月のことだった。無事帰還したものの加藤らが耕せる土地が、故郷に残されているはずもなかった。彼らは新たな開拓の場を国内の未墾地に求め全国に散っていった。

現在上山市で暮らす加藤は、戦後、南陽市の農家に婿入り、近くの吉野鉾山や横浜への出稼ぎで働いたあと、六十五歳の今も鉄板溶接工として働く身である。

「満州には大志を抱いて行ったわけではありませんが、他の五人も同じだったと思います。母も私の満州行きについては相当悩んでいた。けれど、山元村にいたんじゃないか。それに先生からいわれればいやとは言えなかった。結局私たちは軍隊の補助要員だったわけですが、満州行きをすすめた先生たちを恨むつもりはありません。あれは国策だったんです。今人

甲石地区 高橋 正之

生をふり返って、苦しいことばかりだったとは思いますが、満州で死んでいった沢山の人たちのことを思えば、生きているだけで幸せだと思っています。

「満州開拓史」によれば、満州には敗戦直前、一般開拓団や義勇軍を含め約二十七万人の開拓民がいたが、うち三〇％に相当する約八万人が戦死、餓死、凍死、病死したとされる。（加藤朝之助さんは、令和二年十二月五日永眠されました。ご冥福をお祈り致します。）

〈少年開拓団の敗戦後の様子〉

作家・澤地久枝は、少年の開拓団の様子を著書「昭和とわたし」で次のように述べている。

○敗戦の翌年春に見た少年

私は吉林市の路上で、開拓少年団の生き残りの少年たちとすれ違いました。飢えとチフスの熱の後遺症で、私と同年の少年たちは痩せ細り、幽鬼のような姿で陽光のもとを歩いていました。すっかり抜け落ちた頭髪に、もやうように細い薄茶色の髪が伸び始め、風にゆれていました。

十五歳の私は、同世代のほんの子供のような少年たちにこのような訓練を課した指導者への不信と怒りの気持ちを持ちました。（以下略）

○少年開拓団員のおい

敗戦の翌春、私は生き残りの少年開拓団員と行きあった。栄養失調と発疹チフスの熱は、若い肢体を残りに蝕んでいた。幽鬼のような歩行につれて、生きながら死が進行しているような、凄まじいにおいが立ちこめていた。

日本人にとって、政治とはいったい何であったのか。私は「訴因・棄民」という言葉を繰り返して思い浮かべる。

（次回は、同じく義勇軍に従軍した渡辺和さんの証言を記述する予定です。）